

マレーシア長期滞在記 (2017. 1. 14~2. 3)

1年ぶりにクアラルンプール(KL)を訪問した。これで6回目である。マレーシア・マイセカンドホーム・ビザ(略称MM2H)を2015年7月に取得してからは3回目である。これまではブキビンタン地区のパークロイヤルホテルが常宿であったが、今回はKLCC地区のASCOTTホテルにした。KLのシンボルであるツインタワーまで徒歩3分だ。他のアパートメントハウスも検討したが3週間の滞在であり、現地友人の勧めもありアスコットに決めた。以下滞在中の雑感などである。(為替レートはRM=約26円)

1月14日(土)

Air Asiaで羽田空港を深夜に発ちKLに早朝到着。この航空会社を利用するのは今回で5回目である。LCCのプレミアムクラスは通常飛行機だとビジネスクラスに相当するが料金はほぼ60%だ。180度フラットなので老人には快適である。

KL第2空港からホテルまでタクシーで約50分。空港内のタクシーチケットは118RMだった。2年前は100RMだった。

9時前にホテルに到着。今回も長期滞在なのでレジデンシャルタイプである。広さは78㎡の1DK。因みにホテル代合計は約26万円だ。

ホテル到着後まず苦労したのがWifi設定である。TVとDVDの操作もうまく出来ない。ホテルボーイに聞いても要領を得ない。彼らはカバンを運ぶだけなのだ。過去経験からこうした場合直ぐにホテルフロントに連絡することになっている。自分でホテル内施設の調整や使い方であれこれ挑戦することはもう辞めた。長期滞在では初日に居住環境整備は入念にやるのが肝心だ。エアコン温度調整やトイレの扱い方なども一通り納得するまで調整した。

ランチはホテル内レストランでとった。イタリア系で美味かった。スパゲッティと海のサラダと鳥肉のグリル3品とビールとジュースで120RMだった。

午後はホテル内施設を視察した。22階のスカイラウンジは長期滞在者向けサービスで最高だった。図書とコーヒーが無料で楽しめる。同じフロアにはサウナ、マッサージ、ジム、プールが備わっている。

夕方にスリアKLCC(クアラルンプールシティセンターの略)7階で夕食した。このショッピングセンターには伊勢丹の旗艦百貨店と紀伊国屋書店もあり非常に便利だ。

1月15日(日)

朝食はKLCCで買ったパンと野菜と果物で済ます。今回の宿泊は朝食付き

でない。昨年2週間滞在したホテルでは朝食付きでビュッフェだったが、同じような朝食に飽きたことが背景にある。

午前中はスカイラウンジで読書した。日本では読めない固い本と集中を要する本を10冊持ち込んだ。これから少しずつ読む計画だ。9時半に入り11時半までいたが、このラウンジからの眺望は最高だ（写真ご参照）。眼下にはKLCC公園が一望でき、目前はマンダリン・オリエンタルホテルである。ペトロナスタワーも高層ビルの谷間に見える。



夕食は、日本人夫妻2組（AとB）と中華料理を食べた。一年振りの再会だが、世界経済の変化からゴルフスコア、携帯電話、健康問題など会話は尽きない。ワインを4本空けた。

1月16日（月）

11時に予約したHSBCのブキビンタン支店の資産運用担当マネージャーと面談、運用状況について相談した。普通預金の金利は0.2%なので高金利の定期性預金の一部移した。また昨年購入した投資信託の運用についても助言をもらった。投資利回りはまずまずプラスを確保できたが、円高となったので日本円ベースでは資産は減少した。本日の現地新聞によればマレーシア経済は今年プラスに転ずるとのことだ。長期保有なので今後の回復を祈る。

その後最近リニューアルしたブキビンタンのLOT10伊勢丹百貨店を視察した。この施設は日本らしい内装と商品を備えていた。日本文化伝達を意識したものだ。クールジャパン推進の一環で国の補助金が出ている。流石に素晴らしい出来栄で、KLの名物になることだろう。なお4階の日本レストラン街はまだ建設途中であった。

1月17日（火）

KLCC周辺の高層コンドミニアムまで散歩した（写真ご参照）。



ツインタワーまで徒歩10分の立地であるが、ここに友人Aが2年前に引っ越した。そこでホームパーティに招待されたが、床面積300㎡だ。この周辺は商店街とビジネス街（ペトロナス本社など）が集積しておりKLの中心街だ。

ランチは伊勢丹の中で済ませた。午後昨年モンテキアラ地区の高層コンドミニアムに引越した友人B宅に招かれた。34階からの眺めは最高だった。遥か彼方には巨大な宮廷が見え、KL市内が一望できる。（写真ご参照）

さらに遠方にはKLツインタワー

ーが見える。天気が良いとゲンティン・ハイランドも見えるそうだ。

こちらの邸宅は260㎡だそうだ。このコンド群は40階建て3棟で総室数600あるそうだが、駐車場は1200あった。1家に3台のパーキングスペースが用意されている。驚くばかりだ。

1月18日（水）

今日はKL市内から30kmほど離れたテンプラーゴルフ倶楽部（以下TPC）に行った。3家族合同のゴルフが翌19日に予定されており、事前練習するための。因みにTPCは武田鉄矢主演の映画で「織部金次郎シリーズで第五作」の舞台となった。尾崎三





兄弟が監修したコースだ。コース内にある200mもする巨岩が有名だ（写真ご参照）。

家内がゴルフクラブを握るのは久しぶりなので、鈴木コーチングプロの指導を受けた。このコーチは日本人駐在員の間では有名だ。私は100球程度打ったが大汗をかいた。気温は30度で湿度は90%であった。シャワーで汗を流しクラブハウスでランチをとった。

1月19日（水）

朝7時半に友人Aがホテルに迎えに来てくれた。本日のゴルフコースはサウジャナCCだ。KL市内から45分ぐらいかかった。2月にMay Bank主

権の大きなプロゴルフ大会があるそうだ。大きな仮設観客席が設営中であった。因みにマレーシアでNO1のコースはKLGCCだ。昨年11月松山英樹選手が準優勝を飾ったところだ。このコースの会員権相場は高く日本人保持者は極めて少ない。サウジャナCCは日本人会員が多いそうだ。

さて夫婦3組を男性と女性の組に分けてスタートした。カートは2人乗りなので、各組キャディを1人付けた。9時スタートで、この日気温24度無風という最高のコンディションだった。18ホール休憩なしのストロークプレーだ。しかし酷暑の時期は9ホールで諦める組も多いとのことだ。水分補給が非常に重要だ。私はこのコースは3回目だが、過去2回は猛暑でバテ気味で惨めな結果だった。この日は最高のスコアだった。

1時過ぎに終了し、シャワーを浴びて1時半から3家族夫婦同伴でランチを楽しんだ。日本の東北や北海道で豪雪ニュースを見るにKLはゴルフ天国かもしれない。メンバー同伴なので我々二人で1万5千円程度の料金だった。

ランチの際にフランス人男性（友人Aの友人）と会い、そのままランチを共にした。この方は59歳だが3年前に退職し今は働いておらず、社会活動をしているとのことだ。残りの人生に必要な資金があり、稼ぐための時間をもったいないとの発言に老後人生を考えさせられた話だった。

ホテルには4時前に帰った。TVではNHKの大相撲中継だったが、余りに疲れていたのので1時間程仮眠した。

1月20日（木）

明日から3泊4日のベトナム・ハノイ旅行だ。事前勉強としてガイドブックを一通り読む。次に川上量生著「ニコニコ哲学」を読む。ユーチューブがアメリカを代表する動画サイトに対して、ニコニコ動画は後発ながら独自のサービス内容で躍進している日本企業だ。その創始者の経営哲学は大変面白かった。

動画配信サービスは通信インフラとして急速に発達し、既存メディアの強力なライバルになった。昨年のブリクジットやトランプ大統領誕生で既存メディア情報の信頼度が相当落ちた。そしてかなり偏ったものであったようだ。

メディアは読者の期待する情報を選択して報道するもので、メディア自身も独自の価値観で情報を提供するものだ。ニコニコ動画も同様であるが、既存メディアが避けてきた領域や思想に踏み込んでおり拡大していくように思う。

最後に小池百合子著「女子の本懐」を読んだ。2007年7月4日の防衛大臣就任から退任までの55日間の日記だ。都知事就任で昨年夏から小池ブームだが、彼女の思想・哲学・知見が満載で非常に面白かった。

<1月21日～24日はハノイ旅行なので旅行記として別途記載する予定>

1月25日（水）

昨日ハノイから帰国したが、空港から市内までの道路が丁度ラッシュアワーで渋滞していた。ハノイ旅行の疲れが残っており体力回復のために日中は静かに過ごした。

夕食は友人A夫妻とイタリア創作料理を楽しんだ。A氏は70歳で外資系銀行に長く務め、50代で退職しインドネシアのバリ島に小さなホテルを建設した。その後母親の介護で一時帰国したが、2011年からKLに移住した。昨年と一昨年のイタリア縦断旅行と地中海クルージング旅行の話で盛り上がった。また長生きすることより元気に生きる（健康寿命重視）人生観に感動した。

またトランプ大統領後の世界やマレーシア政治経済の見識の深さにも驚かされた。イスラム世界ではイラン、サウジ、トルコが大国だが、少し前まではトルコが名主になる可能性が高かったようだ。しかし最近のトルコはクーデター未遂事件を契機に現政権の独裁化が進行しており言論統制が強まっている。イスラム世界での発言力は落ちているとのことだ。

他方マレーシアは、小国だがアルジャジーラの唯一の海外支店があり、TV内容はCNNやBBCと遜色ない水準まで向上している。欧米と他のアジア諸国

と中東イスラム世界の架け橋的な地位にあるような気がする。

1月26日（木）

午前中にマッサージを受ける。KLにはマッサージ店が多いが良い店は少ない。この店は友人の紹介だ。1時間60RMだった。非常に首肩腰が凝っていたので少し楽になった気がする。

HSBC支店に立ち寄る。金融資産の残高と金利と為替情報を再度確認する。マレーシア通貨は26円でこの3年通貨安が続いている。オイルが昨年から上がっているにも関わらず通貨安なのは気がかりだ。

午後に日本人倶楽部を訪問する。フリーペーパーと日本の新聞を読むのが目的だ。掲示板には昨年秋に日本人女性がひったくり事件にあったことが報じられていた。4年前訪問した時には100近かった同好会の案内は半減していた。テニス同好会はなくなっていた。ヨガ、ダンス、絵画同好会は相変わらず盛んなようだ。KLは14年連続して日本人の長期滞在先人気1位だ。老後人生を「ご褒美人生」という言葉はKL日本人会で聞いた言葉だ。

1月27日（金）

華人社会では今日が大みそかにあたる。KLも故郷への移動のため幹線道路は大渋滞だ。また香港やシンガポールにいる家族でKLが親元である家族も帰ってくるらしい。

この日TPCで友人A夫人とBと3人でゴルフをした。天気は曇り時々晴れで、8:12スタート時は気温24度と涼しく、真夏に軽井沢でゴルフするような気分だ。しかし昨晚からの雨でグラウンドは湿っており、ボールが転がらず距離が出ない。ラフも深く正確にセンターにドライブしないとパーが取れない。グリーンはポテトチップで馬の背なのでアクセスも非常に難しかった。数年振りに112というスコアだった。ゴルフの怖さと己の未熟さを噛み締める結果になった。

1月28日（土）

旧正月元旦だ。KL市内は閑散としていた。ホテルで朝食し午前はスカイラウンジで本を読む。最近好きな本を何時間もかけて読み通すようなことは出来なくなった。1時間程度で疲れるからだ。そして読んだところまでのメモ書きして、残りは日を改めて読むスタイルに変えた。慌てて読み切る必要もなく時間はたっぷりある。むしろ海外長期滞在で最大の敵は「退屈」という病魔だ。これに戦う上で、面白い書籍は宝物だと思う。

今日は「女子の本懐」（小池百合子著）と「世界の中心は回り持ち」（西村吉正

著)を読んだ。トランプ大統領誕生の外交政策を連日TVニュース(KLではCNN, BBC, NHK, アリジャジーラ、FOXが中心)で報じている。小池さんは19歳でエジプトに留学してニュースキャスターから政治家になった本格的国際人だ。西村氏は大蔵省の元銀行局長で1996年退職後アメリカのスタンフォード大学に1年留学している。私が銀行支店長時代には大蔵省(現金融庁)に随分振り回された。その頃の回想録的な名著「金融行政の失敗」と共に世界情勢と現代史に関する識見は大変勉強になった。

夕方TVでは全豪オープンテニス女子の決勝選をやっていた。全豪オープンの模様は1月16日から毎日朝8時から20時まで12時間ぶっ通しでFOX TVが放映している。因みにKLのTVで見るスポーツは、テニス以外ではサッカーとラグビーが多い。国技のバトミントンは殆どなかった。

夜は友人B夫妻と中華料理を楽しんだ。この日は友人Bの友人Cが参加した。毎週土曜の夜は両家族で食事をしているとのことだ。Cはサラリーマン生活で25年間は海外勤務。年齢62歳で大手証券会社の現地法人で現役役員だ。奥方は日本に帰国していたので5人での夕食だった。

ところで日本では友人家族と頻りに食事することは稀だ。KLでは友人仲間での週一ペースの食事は珍しくない。米国ノーベル経済学賞のダニエル教授が米国人女性909人にアンケートした調査結果によると、幸福度トップ3はセックス、おしゃべり、夕食だそうだ。KLの長期滞在人気トップの理由は食事とおしゃべりかもしれない。Cとは初対面ながら意気投合して2日後にゴルフすることとなった。

1月29日(日)

旧正月2日目。レストランは相当閉まっているが寿司店「日向」は開いていた。ここの寿司はKLでは最高水準だろう。値段は少し高いが税込み90RMと納得だ。2週間たつと日本料理が恋しくなる。

午後モノレールでKLセントラル駅まで行き、タクシーで中華街に近いセントラルマーケットで土産物を物色した。今回はマレーシア名産の錫製品を観た。

その後マンダリン・オリエンタルホテルで午後のお茶。ここは流石という内装とサービスだった。やはり一流のブランドを感じさせる。ホテルに戻ると全豪オープンテニスの男子決勝戦だった。フェデラーとナダルの壮絶な試合だ。二人とも往年の名選手だが、現在世界ランクは17位と10位に落ちていた。プロテニス界も競争も激しいものだ。試合はフルセットでフェデラーが優勝した。凄い試合だった。

夕方近場のパビリオンに行く。旧正月を祝う飾り物が素晴らしい（写真ご参照）。そして人手が凄い。マレーシア人は外食比率が相当高いように思える。この日はマレーシア料理の「ナシゴレン」に似た焼き飯と麺類を頂いた。



1月30日（月）

朝8時友人Cの車でTPCに向かう。道路はガラガラだ。ゴルフは13時半に終了し、シャワーと風呂で汗を流した。風呂があるのはKLではここだけだそう。日系企業のゴルフコンペは殆どここで言うそう。半数以上が日本人客で残りは韓国人とシンガポールなどの華人だ。欧米人は少ない。キャディは日立エアコンのロゴ付き服装をしていた。

TPCでもプロ選手権の開催計画が持ち上がっているそう。KLではKLGCCとサウジャナCCでプロゴルフ大会が開催されている。TPCで日本人プロが参加する大会が開催されると有名になることだろう。

18時半、友人B夫妻と「PASSAGE THRU INDIA」で夕食。KLでは最高のインド料理だろう。座席は約80席。華人インド欧米など多種多様な人で賑わっていた。今回はB夫妻の20数年に及ぶロンドン生活が聞けて大変面白かった。ご主人は高校時代からラグビー選手として活躍された方で、大手監査法人に就職し、31歳でロンドンの大手監査法人に転職、パートナーとして20数年ロンドンで勤務したそう。

2015年秋のラグビー世界選手権では2週間ロンドンに行った由。日本が強敵南アに勝った歴史的瞬間を観戦した。日本からラグビー好きな著名人も多数来たがその世話もされた。次回2019年の世界選手権は日本開催だ。既に事務局にボランティア登録している。大会期間中は、KLから日本に長期滞在するとのことである。

1月31日（月）

KLCC内のシネマにて香港映画「西遊記2」を見た。11時開始なのでお客はガラガラだった。シネマの中には11の映画ブースがあった。日本のシネマ会館より巨大だ。ストーリーはお馴染みの三蔵法師とサル、孫悟空、豚の猪八戒、河童の沙悟浄の珍道中だ。開演後20分は企業広告と未公開映画の予告だった。この映画の言語は広東語だが、字幕にはマレー語、北京語、英語の3言語が並列していた。

午後 ロイヤル・セラランゴール・ピューター（錫製品の工場兼博物館）を見学した。日本人観光客は我々以外見当たらなかった。会場では日本語通訳がいて、企業設立から錫製品の製造工程の説明が聞けた。多数の団体客（華人と韓国人が殆ど）で賑わっていた。マレーシアでの錫製品価格はどこも同じで重量で統制されているようだ。

夕食は友人仲間家族の宴会だ。B夫妻が明日から3週間程度日本に滞在するのだ。昨年亡くなったラグビー界の英雄平尾選手の偲ぶ会に参加するようだ。宴会場所は「客家」という中華料理店。15RM払えばワイン持ち込み可なので各家族で1本持ち寄った。3時間半の宴会で4本空けた。皆さんお酒がお強い。自分もKLに滞在する前はワイン1本（700cc）空けると翌日二日酔いだったが、KLでは体調良好が続いている。

2月1日（火）



朝10時半に個人タクシー（GRAB）でゲンティン・ハイランドに行った（写真ご参照）。マレーシアで唯一の公認カジノリゾートである。日本でも昨年IR法が可決されたので関心があった。

百聞は一見に如かずとはこのようなものかと思うほど、想像以上に巨大施設である。1965年開発着手、1971年に最初のハイランドホテルが開業している。もう46年の歴史がある。カジノホテルは今や10軒以上あり、更に新たなホテルが建設中であつた。なお最大のホテルであるファースト・ワールド・ホテルの客室は6

118室とのこと。スケールと華人のカジノ好きには驚くばかりだ。

ここでランチを済ませ2時間そこそこで帰ることにした。帰りはロープウェイで3.8km下った。ゴンドラからの景色は素晴らしかった。15分で巨大バスターミナルに到着。そこからKLまでのバス料金は4.3RMと超格安だった。昨年訪れたキャメロン・ハイランド（走行距離150km）もバス料金は10RMだった。マレーシアの公共交通機関の料金は非常に安い。

2月2日（水）

いよいよ明日帰国である。明日は朝10時にはホテル出発予定なので今日の午後はパッキング作業だ。そして体調を整える為にマッサージに行った。お客は我々が最初で早速マッサージをしてくれた。

スッキリしてパビリオンモールでランチ。ここで家内と別れて、私だけ映画を再度観た。ジャッキーチェン主演の「KUNGFU YOGA」というアクション映画。2日前は冷房が強過ぎて内容も面白くなかったのが途中で退席したが、今回は防寒態勢で最後まで鑑賞できた。広東語が生声であるが、字幕はマレー語、北京語、英語であった。

2月3日（木）

朝食をホテル内のbuffetで済ませ10時にはフロントにカバンの搬送を依頼した。しかし中々取りに来ない。マレーシアではこのような事態は多い。

そして予約した個人タクシーは定刻に到着したが、市内の道路が大渋滞だった。どうも近場で交通事故があったらしい。しかし十分な余裕をもって出発したので空港には3時間前に着いた。

今回Air Asiaのラウンジ（プレミアムシートのお客向け）を利用した。食事と飲み物が無料だがアルコールだけは有料だった。

搭乗したエアバスでは映画、音楽、などが搭載されたタブレットが支給された。最新映画10本観られた。しかし字幕が外国語なので諦めた。家内は日本映画を観た。東京羽田着は20:30予定だったが20時に着いた。

海外滞在では、盗難、ひったくり、病気事故などリスクはつきものだが、KLに関しては全くといって良いほど危険を感じなかった。またタクシーでは釣り銭をまけてくれたことが2度あった。マレーシアの治安は格段に向上しているように思えた。また国民のマナーも向上している。長期滞在を初めて3年目だがまた来年も来たいと思った。

（2017年2月20日記す）